

八女市立長峰小学校学校だより



ながみね



平成28年10月30日 校長 谷川 雅啓

長峰小屋根付き土俵 を「長峰道場」と命名する！



1100名を超える人たちから集められた770万円に上る募金により、ついに長峰小学校運動場に屋根付き土俵が完成しました。これに先立ち、子どもたちに土俵の名前を募集しました。「みねの子土俵」「やりとげる道場」等々子どもたちの思いがこもった名前が応募され、その中から、役員会で「長峰道場」と銘々することに決定しました。この言葉には3つの思いがこめられていると感じます。

一つ目は、道場は心・技・体を鍛える場である事です。子どもたちはこれからの人生で多くの困難に出会いそれを克服していかなければなりません。いやなことつらいことから決して逃げず、一人で立ち向かって行く忍耐力と勇気を培って欲しいと願います。

二つ目は、地域を担う子ども・ふるさとを誇りに思う子どもに育てて欲しいという地域の人たちの思いや願いが、土俵という形として現れた場であると考えます。言い換えれば長峰で古くから伝承されてきた相撲を通しての教育が明確に示されたと考えます。

三つ目は、交流の場であるということです。八女市内・外から多くの人たちがこの土俵に集い、長峰の良さをぜひ味わって欲しいと思います。西の雲龍相撲大会、東の内蔵助相撲大会と言われるような大会が開催されることを熱望する所です。



熱戦「内藏助翁顕彰相撲大会」！（10月22日）



10月22日（土）長峰道場の土俵開きを行い、引き続き内藏助翁顕彰相撲大会を開催しました。どの学年も熱戦が繰り広げられ、子どもたちの精一杯の取組の一番一番に惜しみない拍手がわき起こりました。これも、各学団での練習の成果であると思います。

また、学校・PTA・子ども会育成会三者の合同での開催は二年目で、計画から準備運営までそれぞれの役割を分担し、滞りなく大会が進行しました。おかげをもちまして、今年の試合参加者も249名（男子203名 女子46名）と増加の傾向にあり、長峰の伝統文化を継承する道筋が見えてきたと感じています。

当日はあいにくの雨でしたが、早朝より多くの保護者のご協力で土俵周辺の整備ができ、改めて長峰の保護者の協力パワーを感じる事ができました。感謝申し上げます。

今年も頑張りました「鍛錬遠足」



10月14日 秋晴れのもと、今年も恒例の鍛錬遠足を実施しました。低学年：宮野公園コース（8km） 中学年：九州オルレコース（16km） 高学年：飛形山コース（25km）です。子どもたちは、自然とふれあい友だちとおしゃべりしながら、励まし合いながら、最後までしっかり歩くことができました。随伴のボランティアとして12名の保護者の参加をいただきありがとうございました。

「心」が育てば「学力」も伸びる

平成28年度全国学力調査結果が10月に公表されました。長峰小学校は、国語A・B、算数A・Bどの領域でも全国平均を3～8ポイント上回っていました。

これからの課題は、志や夢を持ちよりよい集団や自分づくりへの挑戦です。子どもたちの可能性を大きく開かせましょう。

全国平均との比較
（0が全国平均）

